



きずな

安久小学校だより 令和3年5月号

【教育目標】

「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成」

～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

新型コロナウイルス感染症予防の取組

5月に県独自の「緊急事態宣言」が発令されました。学校では、新型コロナウイルス感染症予防のために、様々な取組をしています。

毎朝、「健康チェックカード」で、子どもたちの健康状態について確認を行っています。保護者の皆様には、体温の記入など御協力いただき、ありがとうございます。また、マスクの着用、手指消毒の徹底、換気にも気を付けています。

5月の全校集会では「感染した人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、早く治るよう励ましてほしい。」ということを話しました。

避難訓練

5月12日に避難訓練を行いました。今回は、不審者が学校にきた時に、児童全員が安全に素早く避難できるようにするための訓練です。

子供たちは、まず、各学級で避難の仕方の説明を聞いて、その後、訓練をしました。避難する時の約束、「お（おさない）・は（走らない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）ち・（近づかない）」をしっかり守って避難することができました。

いざという時に落ち着いて行動できるように、今後も地震や火災などを想定した避難訓練をしていきます。



本は一生の友達

5月に、1年生は、図書館サポーターの田代美和先生に、図書館の利用の仕方などについて説明をしていただきました。

本校の図書館には、約10,246冊の本があり、4月から5月26日までの総貸出は約2,449冊だそうです。

1人4冊まで借りることができます。月ごとにテーマ本も並びます。6月にはどんな本が並ぶでしょうか。楽しみです。

また、都城市立図書館の「移動図書館車くれよん号」もやってきます。

編集者・翻訳者・作家として活躍した石井桃子氏は次のように述べています。



本は友達。子供時代に友達になる本、そして、大人になって友達になる本。本の友達は一生その人と共にある。こうして生涯話しあえる本と出あえた人はしあわせである。



子供たちには、たくさん本に出会ってほしいと思います。

(目標：年間読書冊数！ 低学年120冊、中学年100冊、高学年80冊)

ボランティア活動

ある朝、児童玄関に行くと、6年生数名が熱心に黙々と靴箱の掃除をしていました。聞いてみると、自分たちで、ボランティアの場所や内容を考えて取り組んでいるということでした。また、昼休みには、委員会活動をしている子供たちの姿をよくみかけます。

みんなのために、自分のできることを、時間をみつけて取り組んでいる子供たち。素晴らしいなあと思います。



